

収蔵資料から

其の111 若山牧水の遺墨 (扇子)



うす紅に
葉はやく
萌え出で、
咲かむと
すなかり
山櫻花
大正十五年春
歌会の時
牧水

牧水は大正11年3月末から伊豆湯ヶ島温泉に出かけます。付近には山桜が多く、牧水は3週間ほど滞在したので、その咲き始めから、散りおえて若葉になるまで心ゆくばかり堪能しました。この歌は、「山ざくら」と題する23首の冒頭歌として広く親しまれています。

牧水は大正15年4月、沼津で創作社歌会を開きました。全国各地から60名ほどが集い、歌会や講演会、懇親会をとおして親睦を深めました。新しい詩歌総合雑誌『詩歌時代』創刊準備に忙しい時期であり、健康もあまりすぐれませんでした。しかし、牧水には社友の協力のもと前年に建てた家(創作社)を見てもらいたい思いがあったようです。

この扇子は、大会に参加した女性のために揮毫したものです。参照/『若山牧水伝』

文学館だより



令和8年4月1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文責 日高第120号

顕彰会、文学館ともに新体制にて始動

年度が改まり、日向若山牧水顕彰会、若山牧水記念文学館ともに新体制にてスタートを切りました。牧水生誕140年記念事業を終えた那須文美会長(会長歴9年、通算14年)退任をはじめとする理事の交代、更にこれまで3人体制だった文学館運営が4人体制となり、事務局が増員となりました。これまで同様、どうぞ温かいご支援をよろしくお願いたします。詳細につきましては若山牧水ホームページや会報みなかみ特集号等でご報告いたします。今暫くお待ちください。

顕彰会新三役 会長 黒木孝利(事務局長兼務)
副会長 橋口寛 寺原政志

事務局新職員 事務 水野亜紀

はじめまして。水野亜紀です。
若山牧水の歌に触れる中で、言葉の持つ静かな力や余韻の深さに魅力を感じています。来館される皆さまにとって、穏やかに心に残る時間となるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

牧水の里に牧水歌碑2基建立



山陰神社歌碑



荻瀬会長宅

牧水の里、日向市東郷町に朗報です。東郷町に牧水歌碑が2基建立され、3月15日に除幕式が執り行われました。

令和5年、東郷町山陰(やまげ)小野田地区の有志により「山陰神社の歴史をつなぐ有志の会」(荻瀬幹夫会長)が結成され、歌碑建立に向けて準備が進められてきました。

1基は山陰神社(東郷町山陰丙)境内に建立され、うぶすなのわが氏神よどこしへに村のしづめとおはすこの神 牧水

もう1基は、荻瀬会長宅に建立されました。

歯を痛み位げば背負ひてわが母は峡の小川に魚を釣りにき 牧水 旅人書

牧水が詠んだ歌で近隣の歌碑に刻まれていない歌、神社やふるさとを詠んだ歌の中から6首を選び、会員の選によって山陰神社歌碑の歌は選ばれました。文学館の行き帰りにどうぞお立ち寄りください。

講座生募集!! 『伊藤一彦短歌実作講座』

今年度も「伊藤一彦短歌実作講座」を開講します。20年目を迎えます。伊藤先生のもとで一緒に短歌を学びたい方、お待ちしております。

開催日程、会場	①令和8年6月17日(水) 13:30~16:20 日向市中央公民館 ②令和8年8月19日(水) 13:30~15:30 日向市中央公民館 ③令和8年11月18日(水) 14:30~16:30 日向第一ホテル
内容	○開催予定日の2週間前までに作品短歌を1首、若山牧水記念文学館まで提出していただきます。 ○6月17日の1回目は、伊藤先生の講話があります。講座生以外の方も受講できます。講話終了後に実作講座を開催します。 ○受講料は1回につき500円です。
参加対象	宮崎県内にお住まいの方
定員	40名程度 ※先着順とさせていただきます。

詳細は若山牧水ホームページをご覧ください。 <https://www.bokusui.jp>
申込締切 令和8年5月20日(水)



牧水歌碑めぐり

其の112 宮崎県東白杵南部 農業改良普及センター(日向市)



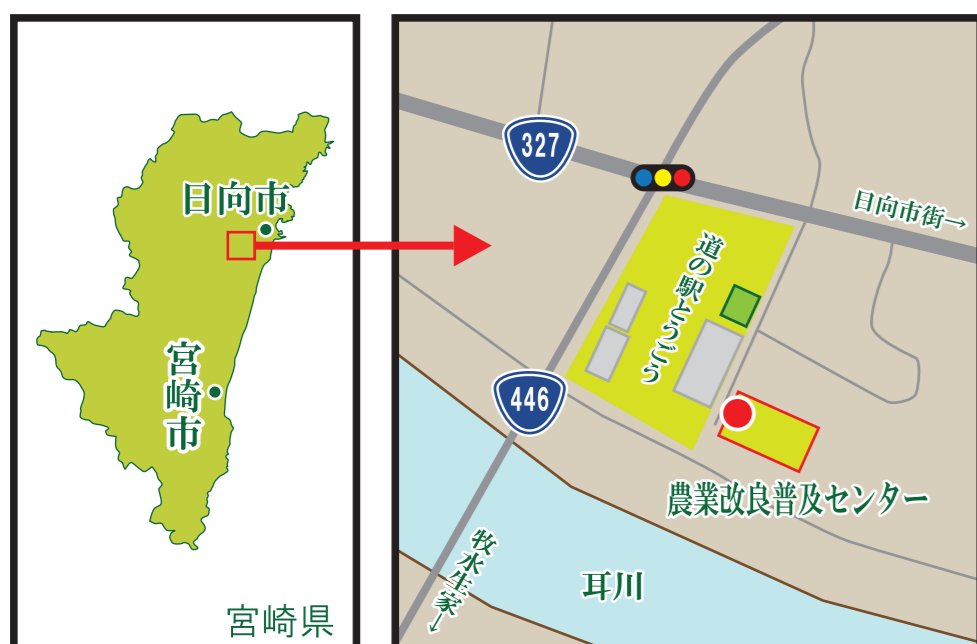
平成11年建立

瀬々走る
やまめうぐひの
うろくづの
美しき春の
山ざくら花
牧水

※4句は後に「美しき春の」と改められました。

大正11年の春、伊豆湯ヶ島温泉で詠んだ「山ざくら」23首中の一首です。「やまめ」は山女とも書くように川魚の女王で、姿も美しく味もよい魚です。「うぐひ」も川魚で、春以降の産卵期はいわゆる婚姻色があらわれ、特にオスが美しい魚です。「うぐひ」「うろくづ」「美しき」の「う」の頭韻がリズムカルで、春の明るい気分が出ています。

歌碑は道の駅とうごうの東、農業改良普及センター入口に建てられました。筆蹟は地元書家によるものです。



参照/『命の碎片 改訂新版』(伊藤一彦)

講座生募集!! 『短歌実作基礎講座』 集まれ! 短歌初心者たち

「短歌を詠んでみたいけれど、伊藤一彦短歌実作講座はレベルが高すぎる。」という声から、昨年発足した初級者コースです。短歌に触れることから始めていきます。サーフィン、日向坂もいけれど、若山牧水が生まれた「短歌のまち日向」を一緒に盛り上げていきませんか。集まれ! 短歌初心者たち

- ねらい みそひともし
(1) 5・7・5・7・7の三十一文字のリズムを知り、短歌に触れる機会をもつ。
(2) 短歌実作および鑑賞を通して、短歌の基礎を学ぶ。
(3) 歌人若山牧水が東郷町坪谷に生まれたことを知り、「短歌のまち日向」づくりを盛り上げる。
(4) 宮崎日日新聞「宮日芸芸短歌部門」等への投稿気運を高める。

- 主催 日向若山牧水顕彰会
- アドバイザー 日向市在住 「心の花」所属
日高尚子氏 日向市在住
鈴木睦代氏(補佐) 日向市在住

- 開催日程、会場、その他(予定)
① 令和8年7月7日(火) 13:30~16:00 日向市中央公民館
② 令和8年8月18日(火) 13:30~16:00 若山牧水記念文学館
③ 令和8年11月10日(火) 13:30~16:00 若山牧水記念文学館
④ 令和9年1月12日(火) 13:30~16:00 日向市中央公民館
⑤ 令和9年2月9日(火) 10:00~12:00 日向第一ホテル
○原則として、開催予定日2週間前までに短歌を1首提出するが、この限りではない。
○当日は、自作短歌を発表し鑑賞し合う。
○アドバイザーから短歌に関する基礎知識を学ぶ。
○受講料は1回につき500円とする。(欠席の場合も徴収させていただきます。)
○できれば年間を通して受講できる方を希望するが、この限りではない。

詳細は若山牧水ホームページをご覧ください <https://www.bokusui.jp>
申込締切 令和8年5月31日(日)



申し込みはこちらまで

- 「伊藤一彦短歌実作講座」(中級者、上級者コース)
 - 「短歌実作基礎講座」(初級者コース)
- 電話 0982-68-9511
ファクス 0982-68-9512
メール bokusui5akugare@gmail.com



牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

瀬の渦にひとつ棲むなり鮎の魚ふたつはすまざるひとつ瀬に

せのうずに ひとつすむなり あゆのうお ふたつはすまざる そのひとつせに
昭和2年詠。「鮎つりの思ひ出」の詞書のあと25首編まれており、最終歌集『黒松』に収められている。

上(かみ)つ瀬と下(しも)つ瀬に居てをりをりに呼び交いつつ父と釣りにきおもほへば父も鮎をばよく釣りきわれも釣りにきその下(しも)つ瀬に釣り得たる鮎つりにがし笑ふ時し父がわらひは瀬に響きにき

以前にも掲載したが、第27回若山牧水賞受賞歌人奥田亡羊氏が「この歌を何度も繰り返し読んで涙が出てくるんです。いい歌というのはそういうものなのかなというふうに思います。」とこの歌を挙げています。

牧水母校 坪谷小学校 ありがとう

3月31日をもって、日向市立坪谷小学校は閉校しました。ポスト文集(短歌集)、おすず(作文集)他の資料を公開し、坪小149年の歴史を文学館が大切に引き継いでいきます。準備にお時間をいただきます。今暫くお待ちください。



企画展『牧水43年の生涯』

第3期「牧水誕生」を開催中

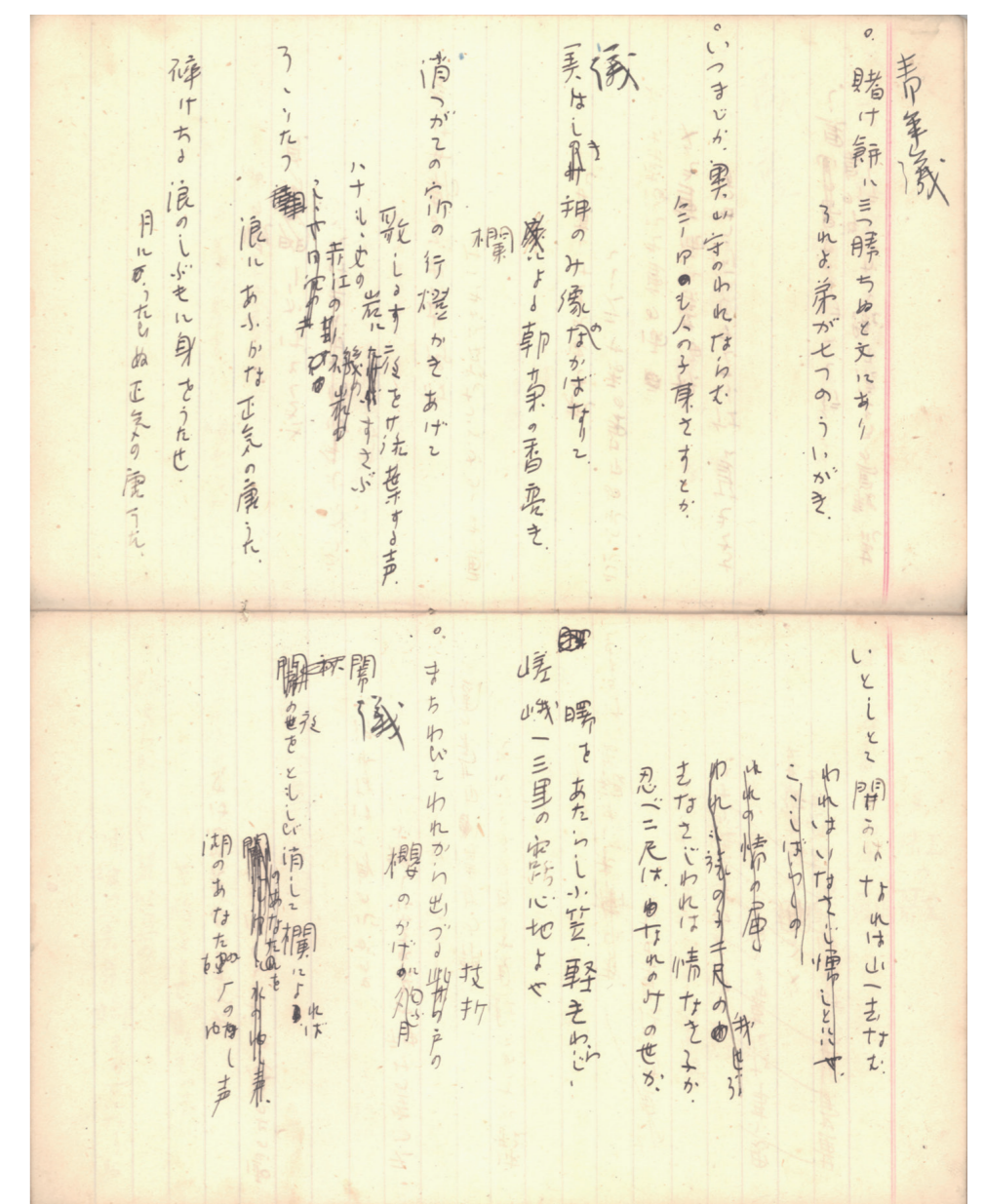
会期 3月6日(金)~5月31日(日)

昨年(生誕140年)から、令和10年(没後100年)にかけて、牧水の生涯と現在まで続く牧水顕彰を紹介する企画展を開催しています。

現在、第3期「牧水誕生」を開催しています。文学を愛する友人たちとの交友。そして、人生を決定づける「短歌」との出会い。多感な十代を迎えた延岡時代における文学活動を紹介します。

展示資料から『文学ノート』

延岡中学時代の短歌や散文を書き留めたノートです。推敲を重ねた様子うかがえます。



若山牧水記念文学館

〒888-0211 宮崎県日向市東郷町坪谷1271番地



■利用案内■
【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く) 年末年始(12月29日~1月3日)
【入館料】小・中学生/100円 高校生以上/310円(20名以上の団体は2割引)
【お問合せ】TEL 0982-68-9511 FAX 0982-68-9512【公式HP】<https://www.bokusui.jp>